

ホッピーを醸した酵母は、 次に電気をつくる。

HOPPY
Monthly Message

11

November 2025

ここは、西東京リサイクルセンターの羽村バイオガス発電所。

ホッピーを作り終えた余剰酵母は生ゴミなどと共に発酵槽でメタンガスを生成。

ガスの燃焼力で発電機を回し、一般家庭約1,550世帯分の年間消費電力を発電しています。

発酵を終えた発酵残渣は、有機堆肥として農作物の肥料に使われます。

●今月のHOPPY EARTH PROJECT

バイオガス発電にも貢献する余剰酵母。

ホッピーの余剰酵母は、飼料として豚を育て、
電気も生み出します。

くわしくは、





ひさもと

ホッピーが3冷なのは店を始めた時から。半世紀以上の歴史がある。席は長椅子で、混んできたら「10センチ痩せて」と女将がいう。客は少しずつ席を詰め空間を作り出す。93歳まで店に通った大学教授の席はL字の一番奥。彼がやって来ると皆で10センチずつ痩せ、席を作った。居心地の良



さはこうして生まれるのだろう。煮込みは夏は鶏、秋から牛すじになる。串焼きは、わざわざハツを食べに都内からやってくる

女性がいるほど。全開にした窓から夕まずめを愛でながらの一杯に、今日を生きた幸せを感じる。

ひさもと

神奈川県川崎市高津区下作延2-9-7

営業時間: 17:00~21:30(月~木・土) 17:00~22:00(金) (日祝定休)

取扱商品: ホッピー、黒ホッピー



「ホッピー deいきぬこう作戦」義援金のご報告

2025年10月29日、皆様からご支援いただきました57,161円を2025年8月分の義援金として、福島県南相馬市の特定非営利活動法人あさがお様にお送りしました。

送付を希望されない方は、ご面倒をおかけいたしますが下記まで御一報いただけますようよろしくお願い申し上げます。
ホッピービバレッジ株式会社 広報担当 (0120-5137-88 もしくは info@hoppy-happy.com)